

令和2年度「事業評価・提案会」評価・提案内容

事業名 ② まちづくり推進事業

担当部署 市民部 地域環境課 地域振興担当

市の取組への評価・課題

具体的な対応策・提案

【評価○】
 ・加入マニュアルの作成やアンケート調査を実施している点は評価できる。

- ・地域コミュニティを自治会という観点からだけでなく、田原周辺であれば大学生を巻き込んだ取組等により広域的に捉え、考えていく必要があるのでは。
- ・繋がりという点から文大の留学生等、日本で暮らす外国人ともつながりをつくる機会を普段からつくってはどうか。
- ・移住者に対するサポート環境を整備することで自治会活動に関心が湧き、加入率の向上にもつながるのではないか。
- ・自治会活動の中で数年に1度まわってくる組長や会計などの役職は負担であり、断ることも難しい状況である。断っても良い仕組みづくりや役職を引き受けた方へ報酬をだすといったことも考えるべきではないか。
- ・イベント(クリスマス会や餅つき大会等)を定期的で開催し、加入したくなる組織作りを目指してはどうか。

【評価△】
 ・自治会へ加入したくなる、協力したくなる仕組みづくりが必要ではないか。

- ・加入を躊躇する原因の1つとして、何をやっているのか分からない部分があるので、自治会の年間活動スケジュール等を提示し、より明確化することが必要だと感じる。
- ・これまで自治会が担ってきた機能を整理し、10年先にどのように代替していくのか検討するワーキンググループ(市役所、民間含めて)で議論することはどうか。
- ・“自治会”という枠組みに捕らわれず、移住者や外国人、大学生等を巻き込むなど、地域コミュニティとして地域を一体として考えていくことが必要ではないか。
- ・自治会活動は強制的、役職をやらない方は後ろ指を指されるなど、ネガティブイメージが付きまとうため、役職を断ってもよい仕組み作りや役職者へのインセンティブ等の付与についても検討をしたらどうか。

【課題】
 ・加入することによる負担(デメリット)ばかりで、メリットをより分かりやすく発信していく工夫が必要ではないか。

- ・若者や新規の加入者を増やすためのイベント等開催を検討したらどうか。
- ・自治会加入検討者へ年間スケジュールを提示する等の自治会活動の明確化が必要ではないか。
- ・市より依頼されて活動する、自分達はやらされているという感想を大半が持っており、本来は行政がやるべき活動を自治会へ下していないか点検すべきである。
- ・今後の自治会の在り方を問うようなディスカッションの場が必要ではないか。